



濃川 耕平

パートナー
東京

Tel: 03-6250-6279(Direct)

Fax: 03-6250-7200

E-mail: k_koikawa@jurists.co.jp

ファイナンス・グループのパートナーであり、キャピタルマーケットを中心に担当しています。

国内外の発行体の資本市場における資本調達(デッド・エクイティ・ハイブリッド証券等)及び上場案件、REIT、投資信託及び証券化商品等の各種金融商品の公募及び私募、第三者割当、ブロックトレード及び自己株式取得等の流通市場における取引等を取り扱っております。

その他にも、レギュレーション、流動化、バンキング等も手がけております。

資格/登録

- 第一東京弁護士会(2001年登録)

学歴

- 2000年 東京大学法学部第一類 (LL.B.)
- 2007年 University of Virginia School of Law (LL.M.)

経歴

- 2007年-2008年 Norton Rose法律事務所(ロンドン)

主な案件実績

- アルヒのグローバルオフリング(2019)
- 武田薬品工業のShire plcの買収(2019)
- アウトソーシングのグローバルオフリング(2018)
- マネーフォワードの海外オフリング(2018)
- シップヘルスケアホールディングスのユーロ円CB(2018)
- 日本電産のユーロ債(2018)
- メルカリのグローバルIPO(2018)
- LINEのユーロ円CB(2018)
- SBIホールディングスのユーロ円CB(2018)

- 朝日生命の劣後債発行(2018)
- 出光興産株式会社:昭和シェル石油株式会社との経営統合(2018)
- 武田薬品のユーロ建グローバル債(2018)
- 武田薬品の米ドル建グローバル債(2018)
- ルネサスエレクトロニクスのグローバルオフリング(2018)
- LIXILビバのグローバルIPOにおける引受側カウンセセル(2017)
- アルヒのグローバルIPOにおける発行体および売出人のカウンセセル(2017)
- ルネサスエレクトロニクスのグローバルオフリングにおける引受側カウンセセル(2017)
- PKSHA TechnologyのIPOにおける発行体側カウンセセル(2017)
- ツバキ・ナカシマのグローバルオフリングにおける発行体側カウンセセル(2017)
- SBIホールディングスのユーロ円CBにおける発行体側カウンセセル(2017)
- マネーフォワードのIPOにおける発行体側カウンセセル(2017)
- 朝日生命の劣後債発行における発行体側カウンセセル(2017)
- ニプロのユーロ円CBにおける発行体側カウンセセル(2016)
- LINEのIPOにおける発行体側カウンセセル(2016)
- 清水建設のユーロ円CBにおける発行体側カウンセセル(2015)
- 山口フィナンシャルグループのユーロドルCBにおける発行体側カウンセセル(2015)
- ツバキ・ナカシマのグローバルIPOにおける発行体および売出人のカウンセセル(2015)
- デクセリアルズのIPOにおける発行体側カウンセセル(2015)
- ヒューリック株式会社のグローバルオフリングにおける発行体側カウンセセル(2015)
- 山形銀行のユーロドルCBにおける発行体側カウンセセル(2014)
- 山口フィナンシャルグループのユーロドルCBにおける発行体側カウンセセル(2014)
- テルモのユーロ円CBにおける発行体側カウンセセル(2014)
- 岩手銀行のユーロドルCBにおける発行体側カウンセセル(2013)
- りそなホールディングスによる公的資金約8,716億円の完済(2013-2015)
- オリックスによる現金と金庫株を用いた蘭資産運用大手ロベコの買収(2013)
- 交通銀行のPOWLにおける引受側カウンセセル(2005)

■ 主な論文/書籍

- 『企業労働法実務相談』(共著、商事法務、2019年)
- 『M&A法大全(上)(下)(全訂版)』(共著、商事法務、2019年)
- 『社債ハンドブック』(共編著、商事法務、2018年)
- 『新株予約権ハンドブック(第4版)』(共編著、商事法務、2018年)
- 『資金調達ハンドブック(第2版)』(共編著、商事法務、2017年)
- 『種類株式ハンドブック』(共著、商事法務、2017年)
- 『Getting the Deal Through - Initial Public Offerings 2020 (Japan Chapter)』(共編著、Law Business Research、2019年)
- 「新株予約権による資金調達」(有斐閣、法学教室No.444、2017年)
- 『ファイナンス法大全(上)(全訂版)』(共著、商事法務、2017年)
- 「日本におけるPIPEの現状」(共著、商事法務、旬刊商事法務No.2133、2017年)
- 『REITのすべて(第2版)』(共著、民事法研究会、2016年)
- 『会社法実務相談』(共著、商事法務、2016年)

- 「日米同時上場に関する検討-LINEの上場を踏まえて-」(共著、商事法務、旬刊商事法務No.2115、2016年)
- 『資本・業務提携の実務(第2版)』(共編著、中央経済社、2016年)
- 『新株予約権ハンドブック(第3版)』(共編著、商事法務、2015年)
- 『論点体系金融商品取引法[2]』(共編著、第一法規、2014年)

■ 受賞歴

- Best Lawyers - 2021 edition
- Chambers Global 2020
- Top Tier in The Legal 500 Asia Pacific 2020
- Chambers Asia-Pacific 2020
- Who's Who Legal Global 2019
- Who's Who Legal: Japan 2019
- Expert Guides 2019
- Highest ranking for Japan in IFLR1000 2020
- Financial Times Asia-Pacific Innovative lawyer Awards 2019

■ 言語

- 日本語、英語